の推 項重 柱進 目点	名 取 行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
1 健やかに過ごせるま	1 それ 「よこはまウォーキングポイント 事業」と連動しながら、ウォー キングをはじめとした運動を日 常生活の中で習慣化できる区 民を増やします。	者数 運動を習慣化	点)	<ul><li>よこはまウォーキングポイント 参加者数10,501人(H28.12/31 時点)</li><li>ウナーキング講座開催3回</li></ul>	区福祉保健課	健康ウォーキング事業	講座等を開催し、地域で健康づくり活動を 継続できる取組を支援します。	【健康づくり係】 公園等を利用して、講師を招き、ウォーキングの基礎となる筋力アップ等の実技・講義を実施します(全6回)。 小中学校のPTA会員を対象にした、健康スタイルの出前講座を実施します(全4回)。	【健康づくり係】 日々の生活の中で気軽に健康づくりに取り組める運動として、ウォーキングや正しい歩き方やストレッチ体操などの 講座を実施し、区民の生活習慣改善に取り組みました。泉区のよこはまウォーキングポイントの参加者は10,900人 となり、昨年度より約2,800人増えています。また、よこはま健康スタンプラリーの応募者数は全区の中で1番多い状 況となっており、これらの結果から、区民の健康づくりの意識は定着してきていると推測できます。 ・健康ウォーキング講座…6地区(和泉中央・下和泉・新橋・しらゆり・緑園・上飯田&上飯田団地)で実施。(参加人 数:155人) ・健康スタイル講座…旧深谷通信所イベント、飯田北いちょう小学校、緑園西小学校で実施。(参加者:112人)
ちめの健康づくりを進める	づ   く 「バランスよく食べる」「塩分少 り なめ」「野菜たっぷり」の食習慣		地場野菜をつ かった料理教室	・食生活健康相談実施120人 ・地場野菜をつかった料理教室 開催4回	区福祉保健課	食習慣の改善事業	地場野菜をつかった料理教室を開催しま	【健康づくり係】 区民のための食事相談を実施します(月1回・12回)。 3歳児健診での子育て世代のための食事相談を実施します(月2回・24回)。 食育の普及のために、「野菜たっぷりレシピ集」を作成するほか、 地場野菜をつかった料理教室を実施します(4回)。	【健康づくり係】 地場野菜を使った料理教室では、「野菜摂取目標量を確認できた」「新しい野菜の食べ方等知識が深まった」等の意見や、妊婦及び離乳食開始前の乳児がいる親を対象とした講座では、「野菜の大切さを理解」「野菜摂取を増やしたい」等の意見があり、食習慣の大切さを理解してもうらうことができました。また子どもの野菜嫌いをきっかけとした親子で読める野菜を使ったレシピ集を作成し、野菜の摂取量を増やす取組の啓発を行い、レシピ集には区内野菜直売所のマップなども掲載したことで地産地消の理解にもつなげることができました。 ・区民のための食事相談(12回実施、参加者:120人)・3歳児健診での食事相談(12回実施、参加者:207人)・地場野菜を使った料理教室(4回実施、参加者:79人)・「やさいだいすきBook」(レシピ集)の発行(10,000部)、食育講演会等で配布。
	禁煙活動を推進するとともに、子どもの喫煙防止教育を進めます。	禁煙相談者数こどもの防煙教育への取組	・禁煙相談者数 41人 ・小学校への喫 煙防止教育2校 実施	·禁煙相談 2人	区福祉保健課	健康横浜21推進事業	禁煙を推進するとともに、受動喫煙を避ける 環境づくりを進めます。	【健康づくり係】 世界禁煙デーにあわせて、「みんなの健康アップ!フェスティバル」で禁煙相談を実施します(6月2日)。 区内の高校1年生及び教員にリーフレットを配付し啓発します。 小学生等への喫煙防止教育を学校・保健活動推進員と連携して 実施します。	【健康づくり係】 世界禁煙デーの啓発などを含めたイベントを区民ホールで実施し、禁煙活動の推進を実施するほか、喫煙防止の活動のために、小学校での喫煙防止教室及び区内の高等学校にリーフレットを配布して、たばこに対する意識付けを行うことができました。 ・「みんなの健康アップ!フェスティバル」で禁煙相談等の実施。(30人)・区内の高校に喫煙予防リーフレット配布。(4校)・上飯田小学校、飯田北いちょう小学校で喫煙防止教室を実施。
	子どもの頃から定期的に歯と 口腔の健康チェックを行い、虫 歯予防、歯周病予防に取り組 みます。	診、3歳児健診	4%(H26年度)	-3歳児健診15.4%(H26年度)	区福祉保健課	お口のセルフケア推進事業	4か月児健診に来所する保護者に対して、 自分自身の口腔ケア啓発とむし歯菌の母 子感染予防を目的に、個別相談・指導を実 施します。	【健康づくり係】 歯と口の健康週間にあわせて、「みんなの健康アップ!フェスティバル」で子どものフッ素塗布及び歯科相談を実施します(6月2日)。 4か月児健診に来所する保護者に対して、自分自身の口腔ケア啓発とむし歯菌の母子感染予防を目的に、個別相談・指導を実施します(月2回・24回)。	【健康づくり係】 ・歯と口の健康週間の啓発事業などを含めたイベントを区民ホール等で実施し、歯周病予防の推進を行うほか、4か月健診時での保護者への歯科指導では、来場者の半分の保護者に口腔指導を行い、虫歯の母子感染予防に対する理解や自身の歯周病予防に意識を持ってもらえることができています。  「みんなの健康アップ!フェスティバル」で歯科予防等の啓発の実施。(来場者:328人)・4か月健診時でのお口のセルフケアの実施。(参加者:547人)
	死因の第1位であるがんについて、がん検診を上手に活用して、早期発見・治療に努める区民を増やします。	- 51 18 1 =F 34	参加者数1,229	左 <del>在</del> )	区福祉保健	がん検診啓発事業	活習慣病に関する啓発を行います。	【健康づくり係】 3歳児健診にて乳がん検診を啓発します(月2回・24回)。 各種イベント等で生活習慣病である「がん」をはじめとした生活習 慣病に関して啓発します。	【健康づくり係】 各種イベントや地域の健康測定会などでがん検診の啓発などを実施するほか、子育て中の母親等へのがん検診の啓発を実施。区民のがん検診の受診率は「肺がん」「胃がん」「大腸がん」は全市的にも高い方であるが、「乳がん」「子宮がん」の受診率は低い状況になっており、さらなる若い世代への啓発が必要となっています。 ・3歳児健診時での乳がん自己触診法等の体験及び骨密度測定の実施。(参加者:332人) ・区民ふれあいまつり、地域の健康測定会等で各種がん検診の啓発。
	2 介護 予 元気なうちから介護予防に取り 防 組む区民を増やすため、講演 の 会やイベントの実施等を通した 普及啓発を図ります。	講演会、介護 予防教室等の 参加者数	22回•865人	●講演会 ・下和泉住宅自治会館35人 ・泉寿荘24人 ・JA横浜みなみ総合センター25人 ・いずみ野地域ケアプラザ26人 ・JA横浜と共催で認知症予防の講演会58人 ・「脳と体の若返り教室」を含め、介護予防普及啓発事業として計50回・延べ1,810人	区高龄·障 害支援課	介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 介護予防に取り組むきっかけとして、関心の高い認知症予防講演会「脳と体の若返り教室」を実施します。地域を会場として、住民の方に周知や会場確保等にご協力をいただき、4回(下和泉住宅自治会館6月22日、老人福祉センター泉寿荘8月30日、JAみなみ総合センター11月2日他)実施します。	【高齢者支援担当】 「脳と体の若返り教室」の中で主に認知症予防についての内容の講演会を区内4会場で開催しました。またJA横浜と共催で認知症予防の講演会を開催しました。「脳と体の若返り教室」を含め、介護予防普及啓発事業として実施しました。4会場での実施により、区役所へ来庁することが難しい方にご参加いただくことができました。平成29年度は、地域での活動は各包括支援センター中心にシフトし、区は大きな講演会を予定しています。
	ロコモティブシンドロームの予 防を呼びかけ、その防止を実 践する区民を増やします。	講座の参加者 数	・講座3回・106 人 ・ハマトレ育成3 回・67人	講座4か所・各2回 ・下和泉住宅自治会館55人 ・泉寿荘34人 ・JA横浜みなみ総合センター47 人 ・いずみ野地域ケアプラザ67人	区高齢•障 害支援課	介護予防事業	講演会や各種講座を通して、元気な高齢者から虚弱な高齢者を対象に、介護予防(ロコモ・認知症)の知識普及・啓発を行います。	【高齢者支援担当】 ロコモ予防のイベント・講座を行うことにより、介護予防の普及啓 発に努めます。「脳と体の若返り教室(運動実践)」(下和泉住宅自 治会館6月29日、7月6日、老人福祉センター泉寿荘9月13日、27 日、JAみなみ総合センター11月15日、29日他)を実施します。	【高齢者支援担当】 「脳と体の若返り教室(運動実践)」を4会場で2回ずつ開催しました。
	健康長寿を目指して、その大切さに気づき、健康づくりを実践するための講座の実施や、グループ活動への支援を行います。	ち上げ支援 グループ活動	【ケアプラザ】 (いずみ中央)	【高齢者支援担当】 ケアプラザにて新規6か所 【ケアプラザ】* 新規 (上飯田)1か所・延535人 (新橋)2か所・健535人 (新橋)2か所・健康はつとサークル24回・373人 ・成まねっとサークル24回・373人 ・かまわり24回・373人 ・かまわり24回・373人 ・かまわり24回・373人 ・かまなりのでは、3ー1ー3参照	地域ケアプ ラザ	元気づくりステーション事	介護予防の必要性と具体的な取組内容に ついて啓発を行います。グループ活動を通 し、高齢者が地域の中で人とつながりなが ら健康で生きがいのある活動的な生活を送 れることを目指します。	続と28年度新規の受け入れも含め会場貸出し運営に関する助言・協力を行います。 (新橋)既存のグループや自主グループ立ち上げを元気づくりステーションとして支援します。また、地域の誰もが集い役割をもって活動できる場となるよう支援します。 (踊場)昔を思い出す遠足形式のウォーキングプログラム。栄養、口腔、ロコモ予防、認知症予防事業。コグニサイズ講座。ふまねっ	H28年度新規立ち上げグループ: (上飯田) 1か所・健好クラブ、(新橋) 2か所・健康畑ひまわり/ふまねっとサークル、(踊場) 3か所・元気クラブ/中村町内会健康麻雀クラブ/すこやかサロン (ケアプラザ】活動団体の継続支援と新たに住民主体の活動団体が立ち上がるよう支援しました。(いずみ中央) 元気づくりステーション「よくばりクラブ」が自主活動グループとして立ち上がりました。住民主体の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行いました。  (下和泉) 元気づくりステーション「健康麻雀クラブ」は、H28年度20名新規受け入れをし、会場貸出し運営に関する助言・協力をしました。H27年度育成されたふまねっとサポーターのスキルアップ講座を実施し、H28年度はふまねっとサポーター協働して連続講座を実施したりサロン等ふまねっと体験教室を開催しました。H28年度終了したうた声サポーター活動支援とサポーターを育成しH29年4月地域デビューしました。  (新橋) 自主グループから元気づくりステーションになった「ふまねっと」運動の団体2つを支援しました。ふまねっとサポーターの支援も併せて行いました。  (踊場) 3か所の元気作りステーションの立ち上げに携わり、継続した活動ができるよう支援してきました。

の推 項重 柱進 目点	3 取 行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
1 1 健 健 か 康 か 寿	3 認知症の正しい理解、予防の ための生活習慣についての啓 発を進めていきます。	講演会の実 施、参加者数	1回・101人	1回・250人	区高齢•障 害支援課	認知症啓発講演会	認知症についての正しい理解を図り、予防 の大切さと、地域の支え合いの気持ちを醸 成します。	【高齢者支援担当】 「認知症の理解」をメインテーマとして、認知症講演会(9月8日、泉公会堂)を実施します。認知症早期受診のリーフレットを作成します。	【高齢者支援担当】 認知症講演会(講師:横浜市大鈴木ゆめ医師、いずみ中央エリア認知症キャラバン・メイト)を実施しました。また、認知症の相談先の案内として、地域包括支援センターのチラシを作成しました。
に過ごせるまち、命を延ばすための健康づくりを進める	認知症の予防活動を地域で広める活動を行う、脳若返り隊を 養成し、活動を支援します。	数	同成46人 研修44人 【ケアプラザ】 (下和泉) 区・他包括と共 催	【高齢者支援担当】 講演会 43人参加 【ケアプラザ】 (下和泉) 区と共催 9人 (上飯田) 20人 (新橋) 15~18人		健康長寿地域人材育成 (脳若返り隊等)	脳若返り隊等の地域で活動を行う人材のス キルアップ研修及び新規育成講座を行いま す。	脳と体の若返り教室(下和泉住宅自治会館6月22日、老人福祉センター泉寿荘8月30日、JAみなみ総合センター11月2日他)を開催します。 【ケアプラザ】脳若返り隊等の活動者向けに研修を実施し、地域での活動支援を行い、連携を図ります。 (いずみ中央)脳若返り隊のスキルアップ研修や新規育成事業講座の開催支援を行います。また、脳若返り隊隊員の活動を把握し、必要に応じてエリア内交流会を開催し、情報交換や情報提供を行えるようにします。 (下和泉)サロンのボランティア、地域の運動指導者のスキルアップ研修、連絡会を開催し、ケアプラザとの連携を強め運営支援を行(上飯田)地域で活動している脳いき教室の活動を支援します。	脳若返り隊に対して、認知症予防講演会「脳と体の若返り教室」の個別案内を送付し、4会場で延べ43人の若返り
	認知症の早期対応のため、専門医等による相談対応を行います。	相談件数	【高齢者支援担 当】 19人 【ケアプラザ】 (下和おお実) が情報 (新橋) 5人 (踊場) 140人	【高齢者支援担当】 *精神科医による物忘れ相談件数 21人 【ケアプラザ】 *認知症等に関する相談件数(いずみ中央) 106人 (下和泉) 延べ314人 (新橋) 3人 (踊場) 34人 (いずみ野) 8人	区高齢・障害 地ザ	物忘れ相談	精神科医師による認知症等に関する相談を 行い、早期発見・治療につなげます。	活動の中での後方支援を行い、地域の中で自信をもって活動できています。   【高齢者支援担当】   精神科医によるもの忘れ相談を月に1回継続実施します。   早期発見、早期受診につなげられるよう、本人や家族の支援を行います。   【ケアプラザ】住民や関係機関からの認知症等に関する相談を行い、必要な情報提供及び専門機関への早期受診につなげられるよう対応します。   (いずみ中央)早期受診につながるよう、情報提供を行います。   (下和泉)総合相談窓口やケアマネジャー、地域住民からの直接の相談に対応し、専門機関へつなげます。   (新橋)総合相談から精神疾患のある困難ケースを区のカンファで共有・協力し、受診に繋げる支援を行います。	【高齢者支援担当】 精神科医によるもの忘れ相談を月に1回実施しました。早期受診へつながるよう情報提供しました。 【ケアプラザ】認知症等に関する相談を受け、医療機関の紹介やケアマネジャーへつなげるなど早期発見・早期受診につながるよう対応しました。 (いずみ中央)ケアプラザが認知症理解に関する相談窓口であることや早期受診につながるよう、情報提供及び収
心し	用し	相談件数	2,965件	<ul><li>ひろば相談 2,059件</li><li>利用者支援事業 159件</li></ul>	区こども家 庭支援課	地域子育て支援拠点事業	未就学児とその養育者の居場所、相談、情報提供、さらに地域で子育てを応援している人のネットワークや人材育成を行っています。	【こども家庭支援課】 様々な媒体を活用した「利用者支援事業」の周知や横浜子育て パートナーと関係機関との関係づくりを進めます。	【こども家庭支援課】 広報よこはま区版8月号において、横浜子育てパートナーの取組についてのPRを行いました。また、関係機関等に 直接出向き、顔の見える関係づくりを進めました。
暮らし続けら	談 一談を受け近める体制づらりで相窓 一談窓口の周知を進めます。 口	相談件数	569件	548件 (H28年1月末時点)	区こども家 庭支援課		乳幼児期から学齢期までの悩みごとに、保 健師・保育士・学校カウンセラー・教育相談 員などが幅広く相談に応じます。		【こども家庭支援課】 「子ども・家庭支援相談」のリーフレットを作成し、保育園児、幼稚園児、小学生、中学生の保護者に配布しました。
	<del>14</del>	相談件数	274件 【常設園のみ】		区こども家 庭支援課		園児との交流保育等の実施をします。	【こども家庭支援課】 より多くの保育所において、地域開放や子育て相談、育児講座や 園児との交流保育等を実施します。また、保育所地域子育てひろ ば事業についての取組について、広報を通じてPRしていきます。	【こども家庭支援課】 区内全保育所に地域開放等の実施について呼び掛けを行い、複数の園で新たに実施しました。また、広報よこは ま区版5月号において、「保育園に遊びに行こう!」とした記事を掲載し、24か所の保育所・認定こども園における 「保育所地域子育てひろば事業」の取り組みをPRしました。
. る	様々な相談に対応できるよう、 関係機関の職員等を対象とした研修会等を開催し、相談対応者の対応能力の向上を図ります。	実施の実施回	当】 2回 【ケアプラザ】 (いず) 1回 (下任内包 (下任内包個別) (上個別) (上個別) (上回) (新人)	【高齢者支援担当】 3回 【ケアプラザ】 *区内包括合同新任ケアマネ研修3回 (いずみ中央) 主任ケアマネジャー研修3回 (下和泉) 主任ケアマネジャー向け勉強 会2回 (上飯田) ケアマネジャー研修2回 (新橋) アセスメント研修3回 (踊場) アセスキルアップ研修2回	地域ケアプラザ	新任ケアマネジャー研修 主任ケアマネジャースキル アップ研修	関係機関職員を対象にした研修を実施する ことで、相談職員のスキルアップを図りま す。	て等研修を行います(3回コースで、秋に実施予定)。 【ケアプラザ】新任ケアマネジャー、主任ケアマネジャー向けに、研修を企画・実施します。 (いずみ中央)区内居宅の主任ケアマネジャーと新任ケアマネジャー研修を企画・実施します。 (下和泉)基本的なケアマネジメント過程や制度活用のみではなく、地域との連携や地域活動の理解の視点を学ぶ機会とし、研修を行います(年2回)。実習については地域の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと協働し、区内で活動するケアマネジャーの質の底上げを図ります(個別に年1回程度)。 (上飯田)地域の居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと協働し、区内で活動するケアマネジャーの質の底上げを図ります(個別に年1回程度)。 (新橋)区内の主任ケアマネジャー連絡会などの顔の見える関係	【ケアプラザ】区内包括合同で新任ケアマネジャー研修や包括エリアでケアマネジャー研修を実施し、職員のスキルアップを図りました。 (いずみ中央)居宅介護支援事業所の主任ケアマネジャーと協働し新任ケアマネジャー実習を行うことで、新人ケアマネジャーの研修機会の確保とともに、主任ケアマネジャーのスキルアップを図りました。 (下和泉)区内地域包括支援センターと合同で新任ケアマネジャー研修を実施しました。3日目の個別実習はエリア内の居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネジャーの協力で実施しました。ケアマネ連絡会ではケアマネジャーの質の向上及び居宅介護支援事業所に所属する主任ケアマネジャーに講師を依頼し互いのスキルアップを目指した勉強会を2回行いました。 (上飯田)主任ケアマネジャーと共働し、研究の企画を行い区内で活動するケアマネジャーのスキルアップを行いました。 (新橋)区内主任ケアマネジャーと協力し、新任ケアマネジャー研修を実施しました。

の推 項重 柱進 目点	名 取 行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
1 健やかに過ごせるまち 安心して暮らし続けられる環境をつくる	1 利用しやすい相談窓口体制の推進 を	連絡会・研修会の実施回数	(いず7回 (下回向 下回向 上回 所回の 12回 (新回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 場の 14回 より 14回 より 1	(いずみ中央) 12回 (下和泉) 11回(区内包括合同含) (上飯田) 12回 (新聞) 10回 (開場) 10回 (いずみ野) 2回		包括エリアのケアマネジャー連絡会 新任ケアマネジャー支援 研修等の開催	介護保険ケアマネジャーを対象とした情報 共有、スキルアップの研修を企画・実施しま す。	実施します。地域ケア会議への事例協力とケア会議への積極的参加を依頼します。 (踊場)障害関係者との連携が図れるように支援します。自己決定	【ケアプラザ】ケアマネジャーのスキルアップにつながるよう、包括エリアごとのケアマネジャー連絡会や研修などを実施しました。 (いずみ中央)ケアマネ連絡会を区内包括合同含め、月1回開催しました。ケアマネジメント技術の向上のため、認知症・医療・制度・事例検討など、様々な内容でケアマネ連絡会を開催し、毎回多くのケアマネジャーの参加がありました。 (下和泉)区内包括合同にて4回、区内包括・ケアマネフォンテとの合同にて1回、エリア内連絡会を6回実施しました。 (上飯田)毎月1回ケアマネ連絡会を開催し情報交換や事例検討を図りケアマネジャーのスキルアップを図りました。また、各地区それぞれの民生委員とケアマネジャーの交流会を企画し意見交換を行いました。 (新橋)他包括、フォンテとの合同およびケアプラザでの開催を合わせて10回のスキルアップ研修を実施しました。(踊場)エリア内のケアマネジャーのスキルアップが図れるよう、研修会や事例検討会など11回行いました。障害関係者との連携が図れる取組を行いました。必要に応じて、エリア内のケアマネジャーと同行訪問をしました。 (いずみ野)ケアマネジャーのスキルアップのための研修会を区内包括合同やいずみ中央ケアプラザと合同で月1
	公的サービスの相談だけでは なく、様々なニーズに対応でき るよう、インフォーマルサポート やボランティア活動等のサービ スの仕組みづくりを進めます。	11 40 2 2 41 0		<ul><li>・地域ケア会議参加6回</li><li>・協議体6回</li><li>・地域支援会議6回</li></ul>	区社協	身近な地域のつながり・3 え合い活動の推進	、  把握した個別のニーズを地域のインフォー  マルサービスにつなぐ仕組みづくりを進めま	地域での見守り等が必要と思われる方には、地域ケアプラザや民	【区社協】 地域ケアプラザの地域ケア会議や協議体等へ参加し、個別課題を把握して解決に向けた検討を進めました。また、 地域支援会議を実施し、個別課題と地域支援の連動を進めるための検討を進めました。
	2 妊娠期 養育者が安心して子育てできるよう、母子健康手帳交付や、乳幼児健診等の機会を活用し、適切な支援につなげます。 切れ目の	母子訪問時の 養育チェック シートの活用 件数 相談対応を事 業に活かして いく取組	443件 (委嘱母子訪問	465件	区こども家庭支援課	早期養育支援事業	関き取りを行い、母親のきめ細かな心理状 能の世界を行い、古塔につなばます	【こども家庭支援課】 母子訪問時の養育チェックシートの活用をさらに推進することで、 育児不安を抱える母親を早期に把握し、必要に応じて保健師によ る訪問・連絡等の継続支援につなげます。	【こども家庭支援課】 母子訪問時に養育チェックシートを用いて、母親の心理状態の聞き取りを行い、必要な場合に保健師による訪問・ 連絡等を実施しました。
	ない子育 て支養育者の多様な保育・教育 ニーズに対してきめ細かな相 談、情報提供等を行います。	相談件数	937件	1,153件 (~H29.2月)	区こども家庭支援課	保育・教育コンシェルジュ	保護者のニーズと必要な保育・教育サービスを適切に結びつけるためのきめ細やかな相談、情報提供等を、保育・教育コンシェルジュが行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュによる、保護者のニーズと必要な保育・ 教育を適切に結びつけるため、区役所の窓口だけでなく、「いず みっこひろば」での相談をはじめとした出張相談を行います。	【こども家庭支援課】 保育・教育コンシェルジュが出張相談を行うことで、乳幼児の保護者が区役所まで足を運ばなくても、保育園、幼稚園の相談が出来る環境を作ることができました。
	新入生とその保護者が小学校 入学による生活や環境の変化 にスムーズになじめるよう、保 育園・幼稚園・認定こども園・小 学校・放課後キッズクラブ・放 課後児童クラブ等の相互連携 をさらに進めていきます。		(幼·保·小教育 交流事業) 園長校長会·実 践交流会(2月)	(幼·保·小教育交流事業) 園長校長会·実践交流会(2月	区こども家) 庭支援課	まちの学校連携推進事業放課後児童育成事業保育施設等との協働による子育て支援推進事業幼・保・小教育交流事業	泉区内の放課後キッズクラブ、はまっ子ふれあいスクール・放課後児童クラブの運営を支援し、児童の安全で健やかな放課後の居場所を提供します。 ※その他、保育園・小学校の情報交換などを適宜支援	幼稚園・保育園・小学校の交流事業である園長・校長会、実践交  流会の開催を支援するとともに、必要に応じて個別の情報共有・	【こども家庭支援課】 H29年2月20日に幼・保・小教育交流事業として区役所で園長校長会・実践交流会が開催され、保育園・幼稚園と小学校との間での顔つなぎや情報交換など、連携に向けての支援を行いました。
	孤立や疾病等による育児不安 から児童虐待につながるリスク を減らし、有効な支援につなげ るために、広報や講演会等に よる啓発を進めていきます。		21回	5回	区こども家庭支援課		<ul><li>地域と連携した児童虐待防止に関する広報・啓発事業を実施します。</li></ul>	【こども家庭支援課】 区民まつりやチャリティコンサートなど地域住民向け行事をとらえ て啓発リーフレットの配付を行うほか、広報への啓発記事の掲載 等を行います。	【こども家庭支援課】 区民まつりやチャリティコンサートで啓発リーフレットの配付や広報11月号への啓発記事の掲載などの他、今年度は新たに市営地下鉄立場駅・中田駅での啓発パネル展示に取り組みました。

の推項重 柱進目点 1 2		行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
健やかに過ごせる	住み間れ	高齢者や要介護者が在宅で継続的な医療・介護を受けることができる仕組みづくりを進めます。	在宅医療連携			区高齢•障 害支援課	在宅医療連携推進事業	して、派院は日立の年別の項目で進める	【高齢者支援担当】 泉区在宅医療相談室と連携し、多職種連携会議や事例検討会、 人材育成研修を実施するなど、在宅医療・介護の充実を目指した 取組を進めます。	【高齢者支援担当】 年2回の多職種連携会議で全体共有を図りながら、各団体の課題・活動状況を共有しました。事例検討会は本年より各団体のリレー形式で実施し、次年度も引き続き同形式で行うことが決まりました。今年度は薬剤師会、区内定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業所、泉区リハビリテーション連絡会の協力を得て3回実施。人材育成研修は歯科医師会の協力を得て11月に1回実施。職種を越えた顔の見える関係づくりが少しずつ進んできています。
るまち 環境をつくる	て暮らせるた	地域に暮らす高齢者等が孤立 せず、必要な支援を受けられ るよう、見守り事業や相談等を 行います。		5,045人(対象者 数)	5,380人(対象者数)	区福祉保健課	ひとり暮らし高齢者「地域で見守り」推進事業	地域に暮らす高齢者等が孤立せず、必要な 支援を受けられるよう、見守り事業や相談 等を民生委員、包括支援センターと連携し て行います。		【運営企画係】 対象者全体数5,380人のうち、訪問対象者(民生委員・包括・区で状況を把握していない方)が562人で、530人の方と面会できました。面会した方のうち、新たに87人の方と、相談支援や見守り活動等につなげられました。
		認知症などの高齢者を介護する人が孤立しないよう、介護者 の集い等を行います。		(いずみ中央) 6回 (下和泉) 富士見が丘地 区社協と 回・15人 (新橋) 10回	(いずみ中央) 6回・37人 (下和泉) 富士見が丘地区社協と共催2 回・13人 (新橋) 12回・120人 (踊場) 12回・81人 (いずみ野) 2回・11人	地域ケアプラザ	介護者のつどいの開催	高齢者を介護する人の情報交換・交流の機 会を図ります。	(いずみ中央)介護者のつどいを2ヶ月に1回開催します。(4月、6月、8月、10月、12月、2月の予定)	
	7	経済困窮等、生活していくこと が困難になっている人に、継続 的な生活の安定・自立を目指 した支援を行います。	自立支援に向けた取組		•新規相談者(実数) 163人 •申込者(実数) 48人 (H29.2.28現在)	区生活支援課	生活困窮者自立支援制度 の実施	生活に困窮した人に対し、就職や家計支出の改善などを通じて、継続的な生活の安定・自立を目指します。	【生活支援課】 制度周知を図り、制度利用者の掘り起こしを行っていきます。	【生活支援課】 区内の全地域ケアプラザ(6か所)、障害者地域活動ホーム「かがやき」、生活支援センター「芽生え」への訪問による事業説明・意見交換を行い、今後の連携・協働を確認しました。本事業のパンフレットの配架を依頼し、支援が必要と思われる相談者の紹介を依頼しました。 関係機関との連携を深めるために、地域活動交流コーディネーター連絡会・生活支援コーディネーター連絡会に、ほぼ毎回出席しました。その他、庁内連携のための取り組み、地域へ働きかける取り組み等を行いました。
			経済困窮等に 関する制度に ついて関係機 関との共有	_	地域ケアプラザ6か所、泉地域活動ホームかがやき、泉区生活支援センターの8か所で実施		経済困窮等における関連 制度の共有	地域の中で経済困窮等、生活していくことが困難になっている世帯が発見された場合に、そのケースに対し一時的な相談対応ができるよう関係機関と経済困窮等に関する制度について研修を行います。	生活困窮者自立支援制度、子どもの貧困やフードバンク事業に関	【区社協】 区生活支援課と共に区内地域ケアプラザ全館、生活支援センター、法人型地域活動ホームへ訪問し、生活困窮者 自立支援制度、生活福祉資金、フードバンク事業について研修会を行いました。また、相談者の相談内容の傾向に ついても共有しました。
	] 	認知症局断有や障害有等の 財産を守る権利擁護や成年後 見等の理解を進め、制度の活	講演 権 議 事 の 組	(上飯田) 50人	【高齢者支援担当】 1回・63人 【ケアプラザ】 (いずみ) 単独1回・24人 (下和泉) 自主事業1回・14人 (上飯田) 1回・50人 (新橋) 8回・323人 (踊場) 1回・20人 (いずみ野) 2回・35人	区害地・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・一郎・	権利擁護講演会の開催	成年後見制度の理解を進め、制度の活用を推進するため、区域、包括エリアでの講演会・出前講座等を行います。	【ケアプラザ】成年後見制度の普及啓発のため、ケアプラザでの講座の開催や区との共催での権利擁護講座を開催します。(いずみ中央)成年後見制度の普及啓発のため、ケアプラザにて講座を行います。自治会向けに出前講座を行います。区域では、区内包括支援センターと区共催にて、10月に講座を区役所にて行います。  (下和泉)要介護状態等になっても、本人の権利が守られ安心した生活が送れるよう、年に1回、区役所、区内包括支援センター、区社協、行政書士会と協動し権利擁護と成年後見制度に関する講座を開催します。また、地域の実情に応じた権利擁護講座を実施し普及啓発に努めます。  (上飯田)エリア内で活動するケアマネジャーに対し勉強会・事例検討・情報交換会等を概ね隔月(区内合同開催含む)行います。また、民生委員との交流会を企画し地域住民との意見交換の場を定期的に設けます。  (新橋)地域の自治会やサロン等に赴き、寸劇や講座を開催することで、権利擁護、成年後見等の普及啓発を図ります。  (踊場)区内地域包括支援センターとコスモス成年後見サポートセンターと権利擁護・成年後見制度の普及のための講座を開催します。	の方に参加いただきました。また、成年後見サポートネットや法人内の権利擁護関連の研修や事例検討会へ参加し、ケアプラザ内での伝達研修や情報共有をはかり、個別相談やサロン等を通じ、地域に向けた普及啓発活動を行いました。  (上飯田)地域で開催しているサロンに出向き成年後見制度の説明や区内包括と合同で成年後見制度に関する講座を開催しました。  (新橋)サロン等へ出向き、寸劇や講義で、消費者被害防止・成年後見制度等を行うとともに、ケアマネジャー連絡会にて虐待の事例検討を行いました。  (下和泉)6月に権利擁護事業として区内施設見学ツアーを開催し14名の方に参加いただき、10月には区役所、区内包括支援センター、区社協、行政書士会と協働し、任意後見制度とエンディングノートの寸劇講座を開催し、49名の方に参加いただきました。また、成年後見サポートネットや法人内の権利擁護関連の研修や事例検討会へ参加し、ケアプラザ内での伝達研修や情報共有をはかり、個別相談やサロン等を通じ、地域に向けた普及啓発活動を行いました。

	重名取点	行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
健やかに過ご	2 安心して暮ら 3 住み慣れた地		新規相談件数 利用件数	•26件 •35件	•66件 •44件	区社協	権利擁護事業(あんしんセンター)の推進	日常的な金銭管理等が困難な高齢者や障害者に対して、金銭管理や福祉サービス利用を支援します。	【区社協】 社会福祉士連絡会や成年後見サポートネット連絡会、地区社協会議など関係機関・団体等に当該サービスを積極的にPRし、支援が必要な人のサービス利用を促進します。	【区社協】 サロン・食事会の他、地域のみまもりネットワーク会議にて、地域住民を対象に、パンフを用いあんしんセンターに ついて説明。支援が必要な人のサービス利用促進を図りました。
まりちり	りんし	認知症高齢者や障害者等の 財産を守る権利擁護や成年後 見等の理解を進め、制度の活 用を推進します。	講座参加人数	60人	シニア大学 約70人参加	区社協	成年後見制度の周知	認知症高齢者や障害者等の財産を守る成 年後見制度の理解を進め、制度の活用を 推進します。	【区社協】 地区社協や地区民児協等の会議やシニア大学において、成年後 見制度に関する説明や出前講座を実施します。	【区社協】 シニア大学にて、あんしんセンター、成年後見(任意後見)制度、市民後見人の活動PR等を行いました。
	をつくるとは組みづせるための仕組みづ		市民後見人育 成の取組		横浜市市民後見人バンク登録 者2名(泉区民)	区社協	市民後見人の支援	市民後見人に関する啓発や、市民後見人になった人への研修や支援を行います。	【区社協】 市民後見人受任候補者の支援のため、成年後見サポートネットで 関係機関と連携して、同候補者が情報や課題を共有する場を設 定します。また、市民後見人受任候補者の実習受け入れ先等の 調整や相談に応じます。	横浜市市民後見人養成講座を受講する泉区民3名の実習の受入れ及び実習先の調整等を行い、活動を支援しま
	ر ا ا	障害者・高齢者への虐待の早期発見・対応ができるよう区民への啓発を進めるとともに、発見時やその後の適切な対応ができるるよう、関係機関と綿密に連携します。	連絡会議からの取組事例	_		区高齢•障害支援課	高齢者虐待防止事業	高齢者虐待を防止するための区民や関係 機関への啓発や、関係機関との連携を目的 とした会議を行います。	′ 防、鉄道会社やケアプラザ等関係機関との、緊密な連携、ネット	【高齢者支援担当】 高齢者虐待防止のための連絡会を平成28年12月14日に実施しました。警察、消防、鉄道会社やケアプラザ等関係 機関との、緊密な連携、ネットワークを構築するため、グループワークを実施。円滑な連携の土台となる顔の見える 関係づくりを行いました。
人、活動と活動のつな	でより多く	「参加者が一緒に楽しむ」ことを目的に、障害児・者と中学生・高校生、青少年指導員、民生委員・児童委員等との交流を進めるため、「ふれあい"ザ"いずみ軽スポーツ大会」の開催を支援します。	参加者数大会からの交流の取組	参加者数1,440人	参加者数1,264人	区高齢・障害支援課区社協	ふれあい"ザ"いずみ軽ス ポーツ大会開催支援	  軽スポーツを通じて障害児・者の社会参加  や中高生との交流を実行委員会形式で行	【障害者支援担当】 プロバスケットチームであるビーコルセアーズのチアリーディングの協力による軽スポーツ大会オリジナルダンスの披露や企業・団体から食料品等の提供をいただきながら、5月21日に大会を開催します。  【区社協】 今年度は、1,350人を見込み実施予定です。障害者とボランティアとの交流を進めます。また、年々増加する参加者へ対応するため、プログラムや経費等についてのアンケートを実施し、次年度に	●ふれあい"ザ"いずみ軽スポーツ大会 5月21日(土)開催 参加者約1,300人。大会の開催により、区内の障害者と中学生等、区民の方々が、互いに理解し合い、心を通わせ、助け合いの心を育むことができました。 【障害者支援担当】・・障害児・者、中高生をはじめとした参加者とビーコルセアーズのチアリーディングが一緒になって大会オリジナルダンスを踊ることができました。・3企業から食料品の無償又は低額での提供及び2団体から助成金をいただくことができました。 【区社協】 今年度は1,264名の参加があり、青少年指導員や主任児童委員の皆さんの協力のもと、障害のある方と、中学生の交流を図ることが出来ました。経費削減のため設営費の見直しについて、各業者と調整しましたが不調に終わりました。そのため、参加者からの一部負担の検討が必要になり、アンケートを実施しました。自己負担は最小限に会を楽しめるよう、協賛企業等を増やしていきます。
があるま	流   を   #	小・中・高校生や保護者に対し、乳幼児や高齢者、障害者についての学習・体験をしても		•実施団体 8 団体 •参加者数 1,981人 •機材貸出 1 団	・実施回数 9団体 ・参加者数 1,282人 ・機材貸出 3団体	区社協	る方による学校への福祉	地域の方々による福祉教育サポーターや、 障害当事者や親などと協力して、各学校で の福祉教育を更に充実させるとともに、地 域住民や企業など対象を幅広く捉えた福祉 教育の実践をはかります。	【区社協】 学校からの要望に応え、高齢者疑似体験や視覚・聴覚障害体験、 教員向けの福祉基礎研修として『先生のための福祉講座』を実施 します。	【区社協】 新しい講師にも活動頂き、12団体への要望に応えました。先生のための福祉講座は、保土ケ谷・瀬谷・泉で共催し広く参加者を募りました。
		らう機会を提供し、理解を進めるための機会を企画・実施します。		24ヶ所	·協力施設等 21施設 ·講座 2講座	区社協	サマースクール事業	小中学生が夏休みに区内の保育園や高齢者・障害児者施設でボランティア体験を行い、交流や理解を深めます。	【区社協】 保育園、事業所などへ体験の他に、防災講座を実施します。被害 を最小限にするための地震に対する理解や、おいしく食べられる 防災食など役立つ知識を学び防災への理解を深めます。	【区社協】 サマースクールに参加した児童や支援学校の生徒がその後もボランティア活動を続けるなど一定の効果がありました。
		施設などでの誰もが参加できるお祭りのような場で、活動グループを知ってもらうための機会を設け、活動グループと地域住民の交流を進めます。	イベントを通じた交流の取組	(いすり900人 (いすり900人 (いすり900人 (下回 (大回) (大回) (大回) (大回) (大回) (大回) (大回) (大回	(いずみ中央) そよ風フェスタ1,800人 男性のためのアクティブLife講座4回・70人 (下和利用者懇談会2回・151人 スプリングフェスティバル1回(2日間)3,972人 (上飯田)会1回・50分 (新橋) ありがとう祭り700人 団体交流会27人 年末大掃除34人 (踊場) 利用団体発表会4回・51人 のおどう来所者数) (いずみ野) 和泉北回・300人	地域ケアブラザ	が 活動団体発表会の開催 ケアプラザまつりの開催	各地域ケアプラザ主催のイベントにて、地域活動グループの紹介や交流の機会を図ります。	【ケアプラザ】まつりや交流会を開催し、活動グループ同士の交流や活動グループを地域の方々に知ってもらう機会を作ります。(いずみ中央)多くの地域の方々や作業所などが交流できる機会として、そよ風フェスタを開催します。より多くの交流が出来るよう地域の方々に広く参加いただけるプログラムを企画します。  (下和泉)ケアプラザ利用団体が地域貢献の一歩を踏み出す場、自分たちの活動を広げる場として、お祭りや講座などの企画を共に実施します。(年2回、スプリングフェスティバル)また、部屋利用団体交流会(年2回)を通して、課題を共有し、課題に対して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。  (上飯田)自分たちの活動を広げる場として、ケアプラザ主催の事業を活動団体と共に協力して実施します。また、部屋利用団体交流会(年1回)を通して、課題を共有し、課題に対して個々の団体が対策を考えていけるよう支援していきます。  (新橋)28年度で7回目となるありがとう祭(ケアプラザ祭)を12月に開催します。また、地域の方が団体紹介を一覧できるものを作成します。	(上飯田)会場利用団体交流会を年1回開催し利用団体との情報交換を図りました。 (新橋)ありがとう祭を12月10日に実施し、700名の集客。11月9日に団体交流会を行い23団体(27名)参加。 貸館利用団体による年末大掃除を12月15日に行い28団体(34名)参加 (踊場)利用団体のモチベーション向上、地域の方の気軽に観覧に来られる場の提供を目的として、利用団体発表会を4回開催。また踊場地区の猫伝説にちなんだ地域イベント「おどりばねこまつり」に参加しました。 (いずみ野)10月に和泉北部地区連合30周年記念行事において貸室団体の一つである和泉北部の保健活動推進員の方々に地域住民の方を対象とした健康チェックを行っていただき、活動を地域の方に知っていただく機会を作り

重 名 取 点 組	行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
	子育て世代が不安や悩みを抱 えながら子育てをしている実情 を理解し、周囲からのサポート を進めるためのきっかけとなる		区域2回	区域2回 エリア72回	区こども家庭支援課	業	関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、ケアプラザエリア、区	【こども家庭支援課】 区域の子育て支援ネットワーク連絡会では、これまでの検討経過 を踏まえ、「夫婦のコミュニケーションの現状」をテーマに、支援者 を対象とした研修を新たに企画・実施します。 また、ケアプラザエリアごとに地域の実状に合わせて子育て支援 の様々な取組を推進します。	【こども家庭支援課】 区域の子育て支援ネットワーク連絡会では、「夫婦のコミュニケーションの現状」をテーマに、広く区内の支援者を対象とした研修を実施しました。(研修を含め、2回)また、ケアプラザエリアごとに地域の実状に合わせて、公園遊びや講演会など、子育て支援の様々な取組を実施しました。(5エリア合計 72回)さらに、子育て支援ネットワークの活動を広く地域に周知するため、広報2月号に記事を掲載し、区域とエリア、それぞれの取組を紹介しました。
な人への理解の	よう講座を開催する等、働きかけを進めます。	提供会員数	92人 ※両方会員 27年度 34人	<ul><li>・提供会員 88人</li><li>・両方会員 29人</li><li>(2月末現在)</li></ul>	区こども家庭支援課	横浜子育でサホートンスァ	児童を預けたい人(利用会員)と児童を預かる人(提供会員)とが利用できるようコーディネートすることにより、地域ぐるみで子育てを支援していく「有償のボランティア」の仕組みです。	、【こども家庭支援課】 地域の中で子育ての理解者を増やし、さらに提供会員の増に向け、広報区版や地域への出張説明会、小・中学校校長会等を通じた提供会員募集についてのPRを行います。	【こども家庭支援課】 地域への出張説明会を行うほか、小・中学校校長会を通じて、児童の保護者向けに、提供会員募集のチラシの配 布を行いました。
: │推		講演会の参加 者数	50人	85人	区こども家庭支援課	発達障害児サポートセミナー	発達障害児や家族が地域で安心して生活 できるよう、関係機関、地域住民に対し、普 及啓発の講演会を実施します。	【こども家庭支援課】 地域住民向けに、障害についての理解を促す内容の講演会を開催します。(11月)	【こども家庭支援課】 「発達障害のある人が地域で生きるために」というテーマで、講演会を11月15日に実施しました。
	障害児・者や家族が感じる、生活上支障があることを知り、周囲ができるサポートを考えるきっかけとなる講座の開催等普及啓発を行います。		52件	147件	区社協	移動情報センター	障がい児・者の移動に関わる窓口として相談を受けコーディネートします。ガイドボランティアの事務取扱団体としてボランティアの確保に努めます。	【区社協】 多様な相談に適切に対応するため、相談機能を強化します。また、区内の障がい当事者や事業者等で構成する推進会議において課題を共有し、解決策を検討します。また、ガイドボランティア確保のための養成講座を実施します。	【区社協】 相談の割合は通学・通所についてが半分以上を占めています。特に、特別支援校の高等部への進学支援について は課題が多く、子ども家庭支援課と連携しながら対応しました。また、担い手確保のため、ガイドボランティア講座を 3回実施しました。
		講座開催数	1件	セイフティネットプロジェクト横 浜出前講座 6件	区社協	障害児・者と交流する事業や、理解を深めサポートを 考えるための講座等の実施	福祉の作品展等で障害児・者との交流や、障害に関するボランティア講座の開催を通して理解を深める取組を進めます。	【区社協】 施設や作業所等で作られた作品展示を「みんなの音楽祭」と同日 に開催します。また、地区社協等に向けてセイフティーネットプロ ジェクト横浜の取組の紹介や出前講座等を実施します。	【区社協】 福祉の作品展を実施しました。地区社協や地域防災拠点からの障害理解へのニーズに対応するため、セイフティネットプロジェクト横浜(略称:Sネット)の出前講座を実施しました。また、区役所職員人権研修では、障害者の家族が講師となりワークショップを実施しました。 ※Sネット: 障害者とその家族が講師となり、障害理解を進める活動です。
 	障害児・者への理解を深める きっかけづくりの場として、障害 児・者団体、障害福祉施設、地 域作業所による自主製品販売 支援の継続、業務依頼を行い ます。	出店回数	・区庁舎242回 ・戸塚駅98回 ・フェリス女学院 大学大学祭 1 回	・区庁舎 243回 ・戸塚駅 96回 ・フェリス女学院大学大学祭 参加 1回	区高齢•障 害支援課		区庁舎や区内各地イベントで各事業所の自 主製品の販売の支援を行います。	【障害者支援担当】 区庁舎での自主製品の販売活動の支援、市営地下鉄戸塚駅構 内の泉区産の農産物の販売機会の確保及びフェリス女学院大学 大学祭への出店による自主製品の販売機会の支援をします。	【障害者支援担当】 販売機会の支援により、障害者の方の社会参加の場が確保され、販売を通じて地域の方との交流ができただけで なく、地域の方にも障害理解について促進することができました。
	障害児・者の余暇支援と、一緒 に活動するボランティアの育成 を行います。	実施回数、ボランティア参加を変える。	(下和泉) 1回20人	【区社協】 7回・54人 (荒天のため1回中止) 【ケアプラザ】 (いずみ・24回・83人 ジュニアフレンド 2回・30人 (下和泉) 単独ニアフレンド 2回・30人 (新) 2回・30人 (いずみ) 1回・31人	<b>区社協</b> 地域ケ ラザ	ジュニアフレンド事業	障害児の余暇支援事業に、学生を中心としたボランティアが参加し、障害児との交流や理解を深めます。	に障害児余暇支援活動を実施します。また、学生や区民にボランティア募集の呼びかけを行い、参加者との交流を通じ障害理解を深めます。  【ケアプラザ】学齢期障害児の活動や経験を増やし、地域のボランティアの障害への理解を促進するため、区内ケアプラザ、区社協、地域活動ホーム、各学校と協力して進めます。夏・冬・春とコースを設定して年3回実施します。 (踊場)放課後等デイサービスなどの事業所サービスにより、外出の機会は増えたものの地域を歩く機会は減ってしまっているので、	(下和泉)ジュニアフレンドの下和泉プログラムとして重度心身障害児を対象に実施。ボランティアとして参加した地域住民との交流や障害児の家族の様子を通して障害理解を深めました。
	認知症高齢者を理解し、支え る認知症サポーターの養成と 活動支援を行います。	認知症サポータ一数	【高齢者支援担 当】 8,078人	【高齢者支援担当】 10,325人 【ケアプラザ】 (いずみ中央) 15回・700人 (下和泉) 6回・8人 (新橋) 6回・238人 (踊場) サポーター養成講座4回・79人 (いずみ野) 7回・657人	害支援課・ケアプラザ	認知症キャラバンメイト支援		【高齢者支援担当】 地域の実情に合わせた認知症啓発活動が計画的に実施できるよう支援します。キャラバンメイト連絡会を区エリア(5月31日、11月30日実施予定)、包括エリアごとに実施します。 (下和泉)地域の自主グループ、自治会、福祉施設、企業等へ認知症サポーター養成講座を実施し認知症の理解を促し早期発見をしていきます。	【高齢者支援担当】 ・キャラバンメイト連絡会を区エリアで実施(5月31日、11月30日)、スキルアップ研修として、瀬谷区キャラバン・メイトの活動紹介を行いました。 ・包括エリアごとのキャラバン・メイト連絡会を概ね各エリア2~4回実施。顔の見える関係づくりの他、認知症支援についての意見交換を重ねることができました。 ・市域キャラバン・メイト交流会において、区エリア連絡会の事例報告をしました。 ・市域キャラバン・メイトの発掘のため、区社協ボランティアフォーラムにおいて、キャラバン・メイト募集チラシを配布し、養成講座受講希望者を把握しました。 ・徘徊SOSネットワークの登録事業者等に対して、認知症講演会や、認知症サポーターフォローアップ研修(平成29年3月11日)などの案内を実施しました。 【ケアプラザ】認知症サポーターの養成やキャラバンメイトの活動を支援し、認知症の理解と普及啓発を行いました。(いずみ中央)今年度は新たに中和田小学校3年生の総合学習の時間に、サポーター養成講座を実施、またいずみ野CPと共催で相鉄ローゼンいずみ野店&カインズ横浜いずみ野店スタッフ向けの認知症サポーター養成講座を行いました。合計年間15回実施しました。 (下和泉)認知症キャラバンメイト受講を提案し、地域住民・事業所に所属する認知症キャラバンメイトが2名増えました。区からの情報提供により、活動を休止していたキャラバンメイト活動を再開し次回の受講を希望する方を含め12名のキャラバンメイトがエリア内連絡会で活動しています。計4回エリア内キャラバンメイト連絡会を実施しました。 (新橋)9月29日、12月13日、2月27日、エリア内キャラバンメイト連絡会を開催し、養成講座準備およびスキルアップについて検討しました。 (踊場)エリア内のキャラバンメイトの連絡会を3回行いました。またキャラバンメイトを支援しながら、サポーター養成講座を地域の医療機関、会社、銀行で行いました。

項重 目点 2 1	取 組 行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名・取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
- 共通課題の解決	ס							を地域で見守る体制作りを進めます。	【高齢者支援担当】 徘徊SOS連絡会を実施しました(12月15日)。「泉区認知症サポーター」登録は、区内全郵便局含め、事業者29か 所、個人14名。 高齢者虐待防止連絡会を実施しました(12月15日)。各機関の取組状況の報告や意見交換を行いました(19名参加 区職員除く)。
- クと連携を指を	うけ							止に向けた検討を行います。	【ケアプラザ】連絡会へ参加し、地域の取組情報の共有と検討を行いました。 (いずみ中央)地域サロンやケアマネ連絡会で虐待防止に向けたチラシ配布を行いました。日々の相談の中から虐待を疑われるケースに対し、見守り他必要に応じて区と協働して対応しました。高齢者虐待防止連絡会に参加し関係機関と情報共有を図りました。
携を強化する   単絶の推進	且 D 進	連絡会から発展した取組			区高齢・障 害支援課 地域ケアプ ラザ	認知症高齢者対策・高齢 者虐待防止連絡会の開催	区内の高齢者関係機関と共に、共通課題 の解決方法を検討します。		(下和泉)12月に高齢者虐待防止連絡会へ参加し、区や区内包括、関連機関との情報共有を図り、高齢者虐待防止に向けた取り組みを検討しました。総合相談で把握した個別ケースや通報のあった虐待(疑い)ケースについて、
								ネージャーに対する支援を検討、必要に応じて区と協働して緊急時の対応を行います。年に1回、高齢者虐待防止連絡会において、高齢者関係機関と情報共有を図り、高齢者虐待防止に向けた	
	同じ分野で活動している地域							(新橋)新橋ケアプラザエリアのキャラバンメイト連絡会を定期的	(新橋)認知症サポーター養成講座を活用して住民と支援方法などを共有しました。虐待防止連絡会に社会福祉士  が参加し、支援のスキルアップを行いました。    (踊場)高齢者虐待防止連絡会において、関係機関と情報共有を図り、高齢者虐待介防止に向けた取り組みを検討
	の活動グループや関係機関等による連絡会議を開催し、共通する区域の課題を整理しながら、解決方法を検討します。								しました。介護者やケアマネジャーに虐待が疑われるケースの早期発見を喚起しました。
		実務者会議、 個別ケース検 討実施回数 連絡会議での 取組	実務者会議2 回、個別ケース 検討会議56回	・実務者会議2回 ・個別ケース検討会議57回	区こども家庭支援課	要保護児童対策地域協議会	要保護児童等の早期発見や適切な保護・ 支援を図るため、要保護児童対策地域協議 会を開催し、関係者の情報共有、課題の解 決に向けた検討を行います。	【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を年2回(6月、2月)開催し、機 関相互の円滑な連携のための情報交換や協議を行います。 また、子どもや養育者に直接関わりのある関係者が集まり、支援 策の検討を行う個別ケース検討会議を必要時に開催します。	【こども家庭支援課】 区域の関係者による実務者会議を開催し、事例をもとにした意見交換・情報交換や、「夫婦関係が子どもに及ぼす 影響」というテーマでの有識者による研修を6月と2月に実施しました。 また、関係機関による個別ケース検討会議を必要時に実施し、支援方針や役割についての検討を行いました。
		公民保育園の 研修参加者数	研修:11回·299 人 交流:8回·7園	研修:20回·581人 交流:11回· 17園	区こども家 庭支援課	保育資源ネットワーク構築 事業	保育資源間での保育・教育の関する実践研修や公開保育等の実施、情報交換・ノウハウの共有化の取組を実施します。	【こども家庭支援課】 「区内保育施設の職員を対象とした保育の質の向上に向けた研修 を実施するとともに、公園や遊水地等で園児・職員の交流保育等 を行うことにより、各保育施設の連携を進め、情報交換やノウハウ の共有化を図ります。	【こども家庭支援課】 泉区保育園園長会主催での研修を開催するとともに、公園や遊水池等での交流保育などを行いました。
		連絡会議等で の課題解決の 取組		・ボランティア団体連絡会(ネットワーク)の開催 12回 ・専門機関(法人・施設の連絡 会)部会開催 3回	区社協	課題共有やその解決のため、ボランティア連絡会の 有効活用	会員組織を活かして、地域の活動グループ や関係機関等による連絡会議を開催し、共 通する課題の解決方法を検討します。	【区社協】 地区社協分科会(12地区会長・事務局長会)に、ボランティア団体 連絡会(ネットワーク)メンバーが参加し、担い手をテーマに課題共 有や解決策の検討を行います。	【区社協】 ボランティアネットワーク全体研修会として、健康長寿をテーマにした講座を開催。健康でいることが担い手として活動する上で重要なテーマであることを、会員全体で共有しました。 また、地区社協やボランティアネットワーク等で出された課題は、区社協の専門機関部会(法人・施設の連絡会)と連携して、解決に向けた検討を開始しました。
	子どもの育ちや親の不安を支えていくための子育て課題を多様な視点から解決するため、 子育て支援ネットワークによる 関係機関との連携を進めていきます。	区域・ケアプラ ザエリアの実 施回数 ネットワーク連 絡会議の取組	区域2回 エリア56回	区域2回 エリア72回	区こども家庭支援課	子育てネットワーク支援事 業	泉区のひとりひとりの子どもの育ちと親を支えていくために必要な子育て課題に対し、 関係機関の連携により、課題解決を進めていくことを目的として、ケアプラザエリア、区域での子育て支援ネットワーク連絡会を開催します。	で、子育で支援状況についての情報共有や課題確認を行います。	【こども家庭支援課】 区域のネットワーク連絡会を年2回開催しました。(7月(研修) 66名、12月 23名) また、ケアプラザエリアごとの連絡会を概ね月1回程度開催しました。(5エリア合計 72回)
	地域の様々な団体や民間企業等と協働し、当事者の社会参加・自己実現を進めている泉 区障害福祉自立支援協議会を 支援します。	連絡会から発展した取組			区高齢•障害支援課	泉区障害福祉自立支援協 議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業 所等の連携強化を目的としたネットワークを 行います。	【障害者支援担当】 泉区障害福祉自立支援協議会の総会のほか、障害児者の日中 活動での支援の方法や事業所等のスキルアップなど、テーマごと に設定され7部会・1WGほかについて、部会開催や参加事業所 等による意見交換や協力体制の構築を支援します。	【障害者支援担当】 ・総会(6月3日)、7部会・2WG延べ99回、シンポジウム「もしも、私たちの町で大地震が起きたら・・・」(3月11日) ・総会や部会・WGの開催をとおして、障害者当事者、障害者施設や区役所の間で、意見交換や課題の共有化ができ、共同による事業へ取り組みことができました。
	議を開催して個別ケースの課題分析等を積み上げ、地域の	ケア会議の開 催数 ケア会議から の課題整理、 取組事例	区レベル1回 包括8回 個別8回	区レベル1回 包括7回 個別17回	区高齢•障害支援課	地域ケア会議	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる体制がある地域づくりを行います。会議は 区域・包括支援センターエリアで実施します。	は個別レベル、包括レベル、区レベルの3層構造で実施し、地域課題の発見及び解決方法の検討を実施します。より広域な課題に	【高齢者支援担当】 個別レベルを17回、包括レベルを7回を実施し、地域課題の積み上げ、分析を実施しました。それぞれが共通に感じている課題をテーマに区レベルで1回実施しました。 区レベルであがった課題に対しては、課題解決が出来ていないため、H29年度も引き続き継続的に関わっていく予定です。

の推 項重 名 <sup>取</sup> 柱進 目点 名級	行動計画	振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
<ol> <li>3 地域活動への参加</li> <li>1 新たな担い手の</li> </ol>		講座の企画・ 実施	2講座・38人	庭木剪定講座 年3回•32名	区社協	これから地域に戻る世代を対象にしたボランティア団体、ボランティアの紹介地区社協と連携して自分の特技や経験を活かせる場の開拓	趣味や特技を活かしたボランティア活動が できるよう、世代の特性にあわせた講座を 開催します。	【区社協】 シニア世代やボランティア登録者等を対象としたボランティア・ガイ ドボランティア講座を8月に開催し、地域活動の担い手を育成しま す。また、男性に関心の高いテーマを設定した講座を開催(庭木 の剪定講座)します。	【区社協】 男性の関心が高く、かつ趣味を通じて、地域活動の担い手としても活躍が期待できる庭木の剪定講座を3回実施しました。講座は座学のほか、実際に地域住民の自宅を借りて、庭木の剪定実技を専門家から学びました。参加者からは、剪定のコツを習得できた、ちょこっとボランティア活動にも活かせるなどの声が寄せられました。
かずすむまち		講座からつな がった担い手 の活動	_		区福祉保保課	建担い手発掘に向けた取組	対象者の関心のあるテーマを設定し、より 担い手の活動につながる講座内容を企画・ 実施します。	活動の担い手となっている方へのインタビューやアンケートを通じて現状を把握します。また、アンケートやインタビューから得た実	【事業企画担当】 プレインタビューと区内で活動している2団体にアンケート調査とインタビュー(グループと個別)を実施し、活動者の 現状を把握しました。また、活動発表会では、いきいきと地域活動に取り組むことで心と体が健康に過ごせることア ピールしました。
	地域での新たな担い手を育成するため、これから地域に戻る世代(50~60代)を対象とした講座を開催します。	講座の企画・実施	(いず43人 (上回 (上回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大回 (大	(いずみ中央) 4回・70人 (下和泉) 1回・13人 (上回 (新回・13人 (3回・13人 (3回・13人 (1回・36人 (1回・36人 (1回・36人) 1回・15人	地域ケアフ	がボランティア講座の企画・実施		【ケアプラザ】地域の担い手向けに、ボランティア講座を開催します。 (いずみ中央)男性のためのアクティブライフ講座を実施します。地域デビューを目指す男性をターゲットにボランティアグループの立ち上げを目指します。  (下和泉)趣味活動から取り組めるような講座等を実施し、若い人が地域参加できるよう年1~2回講座を実施します。地域交流と包括支援センターと協働して歌声喫茶の担い手ボランティアの育成をし、主体的に歌声喫茶を開催します。  (上飯田)地域住民が参加し地域活動に繋がる講座を開催し地域で活動する担い手を発掘養成していきます。	(下和泉)うたごえサポーター養成講座を実施しました。また、地域活動団体と協力しボランティア入門講座を実施し、参加者が活動につながりました。 (上飯田)自主事業として開催した「男の料理教室」の参加者に対して地域の担い手としての要請を図りました。 (新橋)3回の自主事業で、地域の方に講師とサポート役を13名の方にしていただきました。介護予防講座講師を養成し、ボランティア講師として活動につなげました。 (踊場)現在活動されているボランティアのスキルアップ講座を開催しました。
	趣味を楽しむことや、仕事で得たスキルを活かした活動が始められるような講座を開催し、 地域で仲間と一緒に楽しむ機会を設けます。		: 1講座•26人	<ul><li>・音声訳ボランティア入門講座 17名参加</li><li>・傾聴ボランティア養成講座 29名参加</li></ul>	区社協	団体、ボランティアの紹介 や、地区社協と連携して自 分の特技や経験をいかせ	ムーズにできるような仕組みを作ります。	ボランティア登録者に対して登録更新の手続きを実施し、ボランティア活動ニーズを把握します。また、地区社協や施設等に対して、ボランティア団体に関する情報提供を実施し、ボランティアニーズの相談調整を円滑に行うとともに、ボランティアの活動の場を創出します。	6月に308名を対象に登録更新調査を実施。一部の登録更新者に対して、ボランティアセンターよりヒアリングを実施し、活動先の調整等を行いました。
	障害者の理解と活動のサポートをする担い手の育成として、 ボランティア講座を実施します。	ボランティア講座参加者数	【区社協】4講座・66人	【区社協】 ・ガイドボランティア養成講座3回実施 ①ガイドボランティアとは?(10名参加) ②知的障害の理解(15名参加) ③視覚障害の理解(11名参加・セーフティーネットプロジェクト)が関係での出対では、10円の出対を表現の出対では、10円の出対の出対を表現の出対のによる。10円のには、10	) 区社協 )区 )地域ケアフ ト ラザ	小ノノノイノ神座の正画・	ボランティアセンター、あんしんセンター、移動情報センター等で把握した課題の解決を目指したボランティアを育成します。	【ケアプラザ】ボランティア講座の開催にあたっては、ケアプラザごとの特徴を生かし、若い人向け・既存の団体の担い手ボランティア育成などを行います。 (いずみ中央)区社協が把握した課題とケアプラザの課題を共有し、必要なボランティアを育成するため、講座を開催、また地域住民へ課題を投げ、解決のため検討をします。  (下和泉)趣味活動から取り組めるような講座等を実施し、若い人が地域参加できるよう年1~2回講座を実施します。地域交流と包括と協働して歌声喫茶の担い手ボラの育成をし、主体的に歌声喫茶を開催します。 (上飯田)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコー	ジェクト横浜(略称:Sネット)の出前講座を実施。障害者とその家族が講師となり必要な支援等を伝えました。当事者の声を聞く機会が少ないので参考になったという声が聞かれました。今後も少しずつ広めていく予定です。 【ケアプラザ】ボランティア講座の開催や地域の課題解決のための検討を行い、活動につながるようボランティア育成に向けて取り組みました。(いずみ中央)区社協が把握した課題とケアプラザの課題を共有し、必要なボランティアを育成するため講座を開催、また地域住民へ課題を投げ、解決のため検討をしました。また貨室団体交流会やシニアボランティアボイント登録研修会の際には区社協ボランティアセンターとの連携によりボランティア情報の提供を行ったことでガイドボランティアにつながった方もいました。  (下和泉)うたごえサポーター養成講座に障害をお持ちの方も参加しました。地域活動への道筋を作りました。 (上飯田)地域活動団体の活動に参加し活動の状況を把握し、課題解決のための検討を行いました、(新橋)障がい者余暇事業でボランティアをされた方に、さらにボランティアの場を提供すべく1名と了承を得ていたが緊急の用事でかなわなかった。 (いずみ野)28年10月開所のため、まずはケアプラザでボランティア活動が行えることを知っていただくために、泉区社会福祉協議会と連携し地域住民に対してボランティア講座を実施しました(1回)。

の推 項重 柱進 目点 3 1		振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
地域活動への参加地域活動の担い手	新たな担い 社会福祉施設や事業所の利 手 用者が、地域活動に参加したり関わったりすることができる ように取り組みます。	連絡会から発 展した取組	の森見学ツアー	業所等の協働事業(道志の森見学ツアーと植樹(5月)、道志	区高齢・障	泉区障害福祉自立支援協 議会の支援	区内の障害団体や障害福祉サービス事業 所等の連携強化を目的としたネットワークを 行います。	と植樹(5月)」及び障害者が働く事業所(カフェ)での道志村の写	【障害者支援担当】 ・道志の森見学ツアーと植樹:5月31日、4団体40人が参加 ・道志の森力フェ:8月1日から9月30日まで、区内5施設で実施 ・シンポジウム:3月11日、テーマ「もしも、私たちの町で大地震が起きたら・・・」、参加者60人 ・イベントをとおして、障害者当事者、障害者施設や地域の方の交流や相互理解が進むことができました。
	担 い 手 と 地 域	ボランティア紹 介結果数 スムーズな活 動につながっ た事例	ボランティア紹 介結果数690人	ボランティア紹介結果数 548人	区社協	ボランティアセンターの運 営	ボランティアグループの紹介や、ボランティ アネットワークとの連携を通して、ボランティ アを始める方がスムーズに活動につながる よう支援します。	の介助入門)等参加者に対しては既存のボランティア活動や地域	【区社協】 ボランティア希望者や受入団体等のニーズに対しては、ボランティアコーディネーターが調整を行い、必要に応じて 同行支援を行っています。 ボランティアセンター通信かわら版の発行(年3回) きらぼら泉(年3回)発行。
	活動のコーディネート 地域ではいいでは、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学	コーディネート の取組			地域ケアプ ラザ	ランティアネットワーク等と	ボランティアグループの紹介や、ボランティ アネットワークとの連携を通して、ボランティ	(いずみ中央)講座を受講した方々の今後の活動となる場を一緒に探していきます。また区社協のボランティアセンターとも連携し既存の団体の紹介も行っていきます。  (下和泉)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互のボランティアの方が安心して取り組みをスタートできるようコーディネートします。また窓口相談体制を強化します。  (上飯田)地域にあるボランティアグループのアセスメントを実施し、個々の特徴を把握します。また顔の見える関係を築き、相互	【ケアプラザ】地域活動に参加できるようコーディネートを行いました。 (いずみ中央) 「賞室団体交流会」や「ボランテイア感謝と交流の集い」の際、区社協とも連携し、積極的に情報交換と情報提供を 行い新たな活動につながったケースがありました。また、「男性のためのアクテイブlife講座」終了者が新たな活動を 行いつつあります。 (下和泉)部屋利用団体懇談会で各団体にグループ概要、抱える課題等をアンケートに回答してもらい、リスト化しました。グループ概要の詳細を把握したうえでボランティア活動や地域活動希望者に安心して活動していただけるようコーディネートしています。また窓口相談にも活用しています。 (新橋)自主事業である男性料理教室から3名、カメラ講座から1名の方が地域デビューし、貸館団体のメンバーから1名地域デビューしました。 (踊場)ボランティア希望の方に内容が分かりやすいような説明を心がけ、適宜コーディネートを行いました。 (いずみ野)ボランティアを初めて行う人向けのボランティア講座「ボランティアへ!はじめの一歩」を区社会福祉協議会と共催で行いました。
	地域で行われている活動をま とめ、活動の参考となるよう、 情報を整理し、提供します。		光1丁	<ul><li>・ボランティアセンターかわら版、キラぼら泉、区社協広報紙各3回発行</li><li>・地域サービスリストの作成</li></ul>	区社協	地域で行われている活動 に情報提供	新たな担い手を増やしたり、現在活動している人の参考になるように、地区社協やボランティアグループ等地域で行われている活動をまとめた紹介冊子等で、地域情報を提供します。	地区社協は 地区社協広報紙の拠点内掲示や賛助会費募集チラシ、キラぼら 泉(区社協広報紙)やパソネット泉によるホームページ等を活用し ス地区社協の表示。マス団体の活動を広く発信します。	【区社協】 ・ボランティア活動や地域活動への関心を高めるためボランティアセンター通信かわら版等を発行しました。ボランティア活動者や依頼者の声、ボランティア情報、トピックス等を掲載しています。 ・生活支援体制整備事業により区社協と各ケアプラザに配置された生活支援コーディネーターが協働して地域資源の洗い出しを行い、地域サービスリストを作成しました。活用は29年度以降になります。
	3 活動 が 継 地域の活動グループへの相	相談·助言件 数	3,011件	3,499件	区社協	ボランティアセンターの運 営	ボランティアセンターで相談・助言をするとともに、ボランティアネットワークの運営に協力し、団体の課題を共有し、解決に向けた取組みを行います。	【区社協】 ボランティアネットワーク活動分野別情報交換会を開催し、課題解決に取り組みます。また、年3回発行するキラぼら泉(区社協広報紙)にボランティアニーズ対応状況を掲載し、ボランティア活動への関心を高めます。	【区社協】 障害者支援部会(主に障害者支援を目的)、子育て支援部会(主に子育て支援を目的)、高齢者支援部会(主に高 齢者支援を目的)、一般部会(対象を限定せず活動)の4部会を開催。各団体の活動報告の他、情報交換や課題検 討を行いました。
	<ul><li>続・助言をはじめとする運営面すっての支援を行います。</li><li>た めっち</li><li></li></ul>	内容、回数、参 加団体数·人 数	福祉の泉助成 204団体	<ul><li>福祉の泉助成金 195団体</li><li>ミニ研修</li><li>①生活支援体制事業</li><li>②移動情報センター</li></ul>	区社協	ボランティアグループ等の 運営のための研修会等の 開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に 向けた取組が進むよう、研修会等を通じて 支援します。	ローク※発用はの理解が関心するに味したことは核(反対が重要	【区社協】 ボランティアネットワークにおいて、ミニ研修(テーマ:①生活支援体制整備事業、②移動情報センター)を、福祉保 健活動拠点利用者懇談会では生活支援体制整備事業を説明しました。特にボランティア活動は自身の健康にも有 益であることなどを共有しました。
	援	主体的なグ ループ活動の 取組	<ul><li>・保活地区会長会 12回</li><li>・食改セミナー 8回、修了者8人</li></ul>	・保活地区会長会 12回実施) ・食改セミナー 8回実施、修了 者15人	区福祉保健課	地域で活動する健康づくり 団体への支援	保健活動推進員会の研修・活動への取組 を支援します。 食生活等改善推進員の養成を行います。	保健活動推進員の研修や地域での活動の取組を支援します。	【健康づくり係】 推進員などにロコモ予防の研修や救急対応の研修などを実施するほか、ヘルスメイト養成セミナーを実施しました。 ・保健活動推進員地区会長会(12回実施) ・保健活動推進員全体研修会(4回実施) ・食生活等改善推進員セミナー(8回実施:修了者15人)
	地域の活動グループの運営のための研修会を企画・実施します。	研修∙連絡会	人	親子サークルリーダー研修会	区こども家 庭支援課	子育てネットワーク支援事 業 子育てサロン支援事業 親子サークル支援事業	【子育てサロン支援事業】 概ね月1回程度の子育てサロンを地域で開催するなど、子育て支援活動を行っている 地域ボランティアリーダーを対象とした運営 や活動についての研修の開催・活動を支援します。 【親子サークル支援事業】 活動中の親子サークルの代表者を対象とした「親子サークルリーダー研修会」の開催、サークル同士の交流や情報交換、情報提供を行います。	【区社協】 子育てサロン連絡会・研修会を開催します。(連絡会・研修会 各 1回)	【こども家庭支援課】 子育てサロン連絡会・研修会を各1回開催しました。研修会では、他区で子育て支援を行うNPO法人の方を講師に迎え、子育てを地域で支援することの大切さについての講演をいただきました。(連絡会6月 19名、研修会2月 20名) 親子サークルリーダー研修会を年4回開催し、各サークルの活動状況についての情報交換や、親子の「遊び」についての意見交換等を行いました。(6、9、1、3月 延べ167名)

の推項重対性進目点		振返りの視点	現在値 H27年度末現在	現在値 H28年度末現在	実施主体	事業名•取組名	事業概要	28年度 実施計画	28年度 取組結果
活動への参加	活動が 地域の活動グループの運営の ための研修会を企画・実施します。 す。	研修会参加者 数		・助けあい活動(ちょこっとボランティア)情報交換会。44名参加 ・健康講座。40名参加 ・支えあいの町づくり講座。99 名参加	区社協	ボランティアグループ等の 運営のための研修会等の 開催	既存の団体が抱える課題を共有し、解決に 向けた取組が進むよう、研修会等を通じて 支援します。	【区社協】 ボランティアネットワーク活動分野別情報交換会を開催し、その内容に基づきミニ研修(区社協事業や生活支援体制整備事業等)を実施します。また、助け合い活動の実務者を含めた課題検討会を地区社協ミニ研修として実施します。	【区社協】 ・ボランティアネットワーク全体研修では、「いつまでも元気に外出するために」を企画。かながわ健康財団から講師を招き、ボランティア活動を元気に続けるために自身の健康や生活を振り返る良い機会になりました。・地区社協会長・事務局長会において、区内6地区で実施している助けあい活動(ちょこっとボランティア)情報交換会を実施し、取組事例の共有、課題や解決策の検討を行いました。・「地域住民と関係機関が協力して地域を知り、課題に向き合い、住民と関係機関との一体的な支えあいの地域づくりを進める」ため、講師を招き研修会を実施しました。グループワークを通して各地区の今後の地域づくりを考えました。
がすすむまちを養成する	の 支援 現在活動している人が地域の中心となり、より一層活躍できるよう、様々な地域の課題を協力し合いながら解決する力を身に付けるための講座を開催します。	講座の開催	6回	6回開催 参加者27人(実人員)	泉区まちづ くりみらい ウターよこ の推進力 は 地域力 進担当)	泉区まちづくりみらい塾	た、より良い地域づくりのための方法を見つけます。	地域活動の活性化や継続して活動を続ける力を身につけることを	【地域力推進担当】 ①8/27 開講式・講義・交流/②9/10 まち歩き初めの一歩/③10/15 現地見学会Part1(区内)/④11/26 現地見学会Part2(区外)/⑤1/21 現地見学会Part3・マイプラン作成/⑥卒業式・マイプラン発表現地見学会で区内外の活動者と意見交換し、今後の活動の参考とすることができました。また、受講者と受講者・講師・スタッフなどとのつながりができ、活動していく上での相談や協力体制を築くことができました。
	各種講座の終了後に自主活動 のグループ化につながるよう、 活動グループの立ち上げや、 運営方法等の支援を行いま す。	グループ数、参加者数	【高齢者支援担 当】 2グループ ・延べ452人・24 回		区高齢・障害支援課 地域ケアプラザ	元気づくりステーション	高齢者が歩いて行ける身近な場所で、健康で生きがいのある行動を目指します。	【高齢者支援担当】 高齢者が地域の中で人とつながりながら健康で生きがいのある活動的な生活を送れることを目指して元気づくりステーションを立ち上げます。平成27年度からの2か所が継続して活動します。 【ケアプラザ】住民が主体的に活動できるよう支援します。 (いずみ中央)住民主体の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行っていく。 (下和泉)元気づくりステーション「H27年度健康麻雀クラブ」の継続とH28年度新規の受け入れも含め会場貸出し運営に関する助言・協力をしていきます。 (新橋)企画の段階から地域住民と一緒に介護予防事業を行い、元気づくりステーションとして地域の自主グループが立ち上がるよう支援を行います。	【高齢者支援担当】 継続グループ2か所、新規グループ6か所の支援をしました。(H29年3月31日現在) H27年度からの継続グループ: よくばりクラブ(いずみ中央)、下和泉健康麻雀クラブ(下和泉) H28年度新規立ち上げグループ: (上飯田) 1か所・健好クラブ、(新橋) 2か所・健康畑ひまわり/ふまねっとサークル、(踊場) 3か所・元気クラブ/中村町内会健康麻雀クラブ/すこやかサロン 【ケアプラザ】活動団体の継続支援と新たに住民主体の活動団体が立ち上がるよう支援しました。(いずみ中央)元気づくりステーション「よくばりクラブ」の住民主体の活動が円滑に継続出来るよう相談・助言を含む後方支援を行いました。 (下和泉)元気づくりステーション「H27年度健康麻雀クラブ」の継続とH28年度新規の受け入れも含め会場貸出し運営に関する助言・協力をしました。地域のボランティアを講師としてノルディックウォーキングの連続講座を実施し、終了後5~7人ではありますが自主グループが立ち上がりました。 (新橋)元気づくりステーション立ち上げ、継続支援の他、ウォーキンググループ自主化を目指し、3回の活動を支援しました。サロン等へ出向き、健康講座を概ね月ー回程度開催しました。
2 地 域 の	発 信地 域 情	本土	元気の出るまち 泉連載 年9回	元気の出るまち泉連載 年7回	区福祉保健課	地区別計画の取組紹介(広報よこはま泉区版)	広報よこはま泉区版の地域福祉保健計画 の連載をはじめとした、地域の取組を発信 します。	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」コーナーへの地域の 地域福祉保健計画の取組を連載し、情報を発信します。28年度7 回	【事業企画担当】 広報よこはま泉区版の「元気の出るまち泉」コーナに、年7回(5、8、10、12、1、2、4月)計画通り、住民の方々の協力を得てコラムを作成していただき、情報発信することができました。
活動に関心を持つ人も	地域の状況や行われている活動が的確に伝わるよう、対象 動が的確に伝わるよう、対象 や内容を明確にしながら、様々 動にはながら、様々 動にはながら、様々 がはないます。 関する情		すきっぷ通信12 回 メルマガ82回	・すきっぷ通信:2,000部/月 ・メルマガ:67本(月平均約6本) (2月末現在)	区こども家庭支援課	地域子育て支援拠点事業	子育て支援に関する情報を拠点「すきっぷ」 を通じて区民に情報発信を行います。	【こども家庭支援課】 地域子育て支援拠点「すきっぷ」作成の「泉区子育て支援マップ」 の区役所窓口での配付をはじめ、「すきっぷ」による区内の子育て 支援関連情報を、「すきっぷ通信」やWEB、メールマガジンに加 え、SNSでの発信にも取り組みます。	【こども家庭支援課】 市外からの転入者に向け泉区子育て支援マップの区役所窓口での配付を行いました。 また、すきっぷ通信やメールマガジンを配信(すきっぷ通信12回、メールマガジン6~7通/月)するとともに、SNSによる情報発信も行いました。
を増やす	2 地域を知るきっ	イベントをきっ かけとした取組	泉区社会福祉 大会にて計画の 説明及び記念講 演 約540名参 加			地域福祉保健計画推進イベントの開催	地域の福祉保健活動を知り、活動に参加するきっかけづくりのイベントを開催します。	【事業企画担当】 地域活動の参加のきっかけにつながるよう、29年2月に、区民 ホールにて第3期泉区地域福祉保健計画の周知および地域活動 について紹介し、区民向けの活動発表会も開催します。	【事業企画担当】 ・区民ホールイベントのアンケート結果より、地域の活動を知ってもらい関心を向けてもらうことが概ねできました。 来場者は区役所に来庁された方が多く、広く区民に周知するための方法について検討していきます。 ・活動発表会については、テーマ設定、地域の活動の発表についておおむね良い反応があり、アンケートでも地域福祉保健計画についても関心を持ったという回答が多くありましたが、集客の面で課題が残りました。平成29年度はチラシの配布場所を広く一般の方が出入りする場所に広めること、活動発表会の日程について検討していきます。
	かけ	イベントをきっ かけとした取組	1,766人		区福祉保健課	健康づくりイベント	地域の健康づくりに関わる活動を知り、活 動に参加するきっかけづくりのイベントを開 催します。	【健康づくり係】 区民の健康づくりのきっかけになるよう、各イベントにおいて、生活習慣病予防をテーマとした健康測定やパネル展示等を実施します。(6月・11月・2月) 区政30周年でのラジオ体操や食育講演会等の参加者に対して、健康づくりの情報を発信していきます。	【健康づくり係】 各種のイベント等において健康づくりの様々な啓発と取組を紹介することで、区民の健康のきっかけづくりに役立てることができています。 ・「みんなで健康アップ!フェスティバル」でのパネル展示 ・区制30周年記念事業のラジオ体操及び食育講演会で啓発の実施。 ・地福イベントでの健康関連ブース及び食育関連ブースの出展。
		団体活動を知 るきっかけづく りの取組	_	・拠点利用懇談会2回開催・66 名参加 ・ボランティアフォーラムの開催 188名参加	☑ ½+ ½?	ボランティアフォーラム等 のイベントの開催	ボランティアネットワーク等のイベント開催 への協力や、社会福祉大会等での発表等、 団体の活動を周知し、参加するきっかけづく りを行います。	【区社協】 ボランティアフォーラム実施に協力してボランティアのすそ野を広 (げます。また、ボランティアネットワーク広報紙創刊号の発行に協力します。	【区社協】 ボランティア同士の交流やボランティアのすそ野を広げることを目的にボランティアフォーラム開催しました。ボランティアグループの活動発表や手作り品作成体験、作品展示コーナーなどを用意して交流を深めました。
	関心の高い事項や、地域でど のような活動が求められている のか等を的確に把握するた め、幅広い区民を対象とした調 査を実施し、ニーズに合わせた 講座等を企画・実施します。	ニーズ把握の ための取組		H26年度区民意識調査		区民意識の変化を測る調 査の実施	26年度に実施した区民意識調査の推移をみるための調査を継続実施します。	(第4期計画の策定にあわせて平成30年頃実施予定)	